

東北ブロック身体障害者施設協議会 平成29年度事業報告・平成30年度事業計画

平成29年度事業報告	平成30年度事業計画
<p>1. 施設長会議</p> <p>I. 第1回施設長会議（1泊2日） 日時：平成29年11月9日（木）～10日（金） 於：福島県白河市 東京第一ホテル新白河 担当：福島県 福島県ひばり寮</p> <p>〔第1日目〕</p> <p>1. 東北ブロック身障協第1回防災シミュレーション 山形県光生園が水害により被災した想定で実施</p> <p>2. 協議</p> <p>(1) 東北ブロック身障協シンボルマークについて (2) 東北ブロック身障協職種別研修報告 (3) 中央情報・報告 東北ブロック身障協 白江会長 (4) 全国身体障害者施設協議会各委員会報告</p> <p>①常任協議員会 東北ブロック身障協 白江会長 ②総務・広報委員会 山形県・すげさわの丘 荒井施設長 ③制度・予算対策委員会 秋田県 秋田ワークセンター 佐藤施設長 ④調査研究委員会 福島県 南東北さくら館 佐藤施設長 ⑤地域生活支援推進委員会 青森県 内湯療護園 太田施設長 ⑥研修・全国大会委員会 岩手県 一関リハビリセンター 岩淵施設長 ⑦権利擁護推進委員会 東北ブロック身障協 白江会長 ⑧その他</p> <p>3. 各施設からの提案議題討議</p> <p>①人材確保の取り組み状況について 岩手県 高館の園</p> <p>4. その他</p> <p>〔第2日目〕</p> <p><施設見学></p> <p>○福島県総合社会福祉施設 太陽の国 ・福島県ひばり寮・ゆうあい工房・浪江ひまわり荘見学</p> <p>※別紙①結果報告、別紙①-2収支報告書</p> <p>II. 第2回施設長会議 日時：平成30年3月13日（火） 於：宮城県仙台市 仙台サンプラザ 担当：事務局</p>	<p>1. 施設長会議 その他の事業</p> <p>① 第1回施設長会議（1泊2日） 平成30年11月8日（木）～9日（金） 於：山形県鶴岡市 担当：山形県 月光園</p> <p>② 第2回施設長会議 平成31年3月上旬～中旬（予定） 担当：事務局：仙台市</p>

平成29年度事業報告

平成30年度事業計画

【議案】

- 1) 平成29年度事業報告(案)並びに収支決算見込み額(案)について
- 2) 平成30年度事業計画(案)並びに会費及び収支予算書(案)について
- 3) 全国大会研究発表進捗状況について
(平成30年3月1日(木)第1回ミーティング実施)
- 4) 東北ブロック身障協シンボルマークの決定について
- 5) その他

【報告】

- 1) 平成29年度第2回防災シミュレーション報告
- 2) その他

2. 協議員会議

【第1回協議員会議】

日時：平成29年5月23日(火) 13:00~15:00

場所：仙台市生涯学習支援センター 5階 会議室

(議題)

1. 平成29年度事業計画の具体化について
 - ・東北ブロック身障協ホームページについて
 - ・職種別専門研修実施について
 - ・平成29年度防災シミュレーション実施について
 - ・シンボルマークについて

【第2回協議員会議】

日時：平成29年7月19日(火) 13:00~15:00

場所：仙台市生涯学習支援センター 第一セミナー室A

(議題)

1. 東北ブロック身障協ホームページについて
2. 職種別専門研修実施について
3. 平成29年度防災シミュレーションの実施について
4. シンボルマークの公募について

【第3回協議員会議】

日時：平成29年9月11日(月) 13:00~15:00

場所：ホテルJALシティ仙台 2F プリムラ

(議題)

2. 協議員会議

◎協議員会議(必要に応じ会長が招集する)4~6回程度(予定)

担当:事務局:太白ありのまま舎

平成29年度事業報告

1. 職種別研修実施について
2. シンボルマークの公募について
3. 東北ブロック身障協ホームページについて
4. 平成29年度防災シミュレーション実施について
5. 東北ブロック身障協 第1回施設長会議について

【第4回協議員会議】

日時：平成29年11月14日（月）13：00～15：00

場所：仙台市生涯学習支援センター 会議室

1. 職種別専門研修報告（アンケート）について
2. 来年度の全国大会研究発表について
3. シンボルマーク報告について
4. 平成29年度防災シミュレーション実施報告について
5. 東北ブロック身障協ホームページ更新について

【第5回協議員会議】

日時：平成30年2月6日（火）13：00～15：00

場所：仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室

1. 全国大研究大会研究発表について
2. 東北ブロック身障協シンボルマークについて
3. 東北ブロック身障協平成29年度第2回防災シミュレーションについて
4. 東北ブロック身障協平成29年度第2回施設長会議日程について
5. 職種別研修の活用について（ネットワーク）
6. 東北ブロック身障協ホームページについて

3. 東北ブロック支援体制協定に基づく訓練（シミュレーション）

①東北ブロックとして、震災等自然災害が発生した場合の対応として、支援体制協定を検証しつつ、災害に備える

②そのための訓練（シミュレーション）を実施した。

1. 第5回シミュレーション 平成29年11月9日（木）

山形県最上地区に集中豪雨発生し、対象施設「光生園」にて被災する想定で実施した。

2. 第6回シミュレーション 平30年3月 日（）

岩手県一関リハビリセンターが大雪で被災する想定で実施した。

③協議員施設・衛星携帯電話通話テストの実施・毎月20日実施（4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月）

④支援物資の備蓄リストの更新

平成30年度事業計画

3. 東北ブロック支援体制協定に基づく訓練の実施

（シミュレーション）

◎2回実施予定（目標） 担当 秋田県・福島県

◎東北ブロックとして、震災等自然災害が発生した場合の対応として、支援体制協定を検証しつつ、災害に備える

◎そのための訓練（シミュレーション）を実施する

◎支援物資の備蓄リストの更新

◎備蓄マップ（施設マップ）の改善（道路マップ等付加）

◎協議員間において毎月衛星電話による通信テストの実施

平成29年度事業報告

4. 第41回東北ブロック身体障害者施設職員研修会

日時・場所 平成29年9月21日(木)～22日(金)

於：青森県 青森市 ホテル青森

大会テーマ 「幸福度UPにつなげるQOLの充実
～“あずまし”心豊かな楽しい生活!～」

担当：青森県 金浜療護園

日程：平成29年9月21日(木)

13:30～14:00 開会式

14:00～15:00 基調講演「障害福祉施策の動向」

厚生労働省 社会援護局 障害福祉部障害福祉課
障害福祉専門官 吉野 智氏

15:15～17:30 分科会

○第1分科会 「社会福祉法人制度改革1年目の取り組み」

講師：立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 平野 方紹氏

○第2分科会 「利用者ライフスタイル多様化への対応」

講師：青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 准教授
石田 賢哉氏

○第3分科会 「BCPの再点検(実効性を確保しレベルアップ!)」

講師：SOMPオリスクアマシメント(株)BCMコンサルティング事業部
上級コンサルタント 川村 丹美氏

○第4分科会 「利用者のライフスタイルの多様化への対応」

～タイムスタディの活用からワーク・ライフ・バランスへ～

18:30～20:30 交流会

平成29年9月22日(金)

9:00～9:30 各分科会報告

9:30～10:30 中央情勢報告

「変わりゆく障害者施策の動向と対応」
全国身体障害者施設協議会 会長 日野 博愛

10:45～11:45

記念講演 「縄文より21世紀、ひとり一人のQOLを考察」

青森県企画制作部理事 世界遺産文化遺産登録推進室長
岡田 康博氏

11:45～12:00 閉会式

※(別紙②)収支決算書(案)

平成30年度事業計画

4. 第42回東北ブロック身体障害者施設職員研修会

◎平成30年9月27日(木)～28日(金)

◎於：岩手県 花巻市 花巻温泉ホテル千秋閣

◎担当：岩手県 施設名 高館の園

平成29年度事業報告

5. 第41回全国研究大会での東北ブロックからの発表
 ◎宮城県・太白ありのまま舎より発表

6. 第1回職種別研修会（研修委員会及び協議員共同開催）

日時：平成29年10月30日（月）13：00～16：30

於：宮城県仙台市 仙台市中小企業活性化センター
 ホテルJALシティ仙台

テーマ・講師・司会進行・統括

1. 看護師「入居者の重度化・重症化・重複化の現状と対応」
 講師：菅野優子氏（太白ありのまま舎・メディカルチーフ）
 司会進行：大澤琢哉氏（東北ブロック身障協研修委員）
 統括：佐藤智洋氏（東北ブロック身障協協議員）
2. サービス管理責任者「個別支援計画と意思決定支援」
 講師：曾根直樹氏（社会事業大学・准教授）
 司会進行：舟山信悟氏（東北ブロック身障協研修委員）
 統括：岩淵睦夫氏（東北ブロック身障協協議員）
3. 栄養士「多様化する食形態への対応」
 講師：金田智子氏（一関リハビリセンター管理栄養士）
 司会進行：横山直氏（東北ブロック身障協研修委員）
 統括：佐藤茂仁氏（東北ブロック身障協協議員）
4. 事務職「事務職員における入居者・利用者支援のあり方」
 講師：徳川輝尚氏（全国身体障害者施設協議会顧問）
 司会進行：村上敬氏（東北ブロック身障協研修委員）
 統括：白江浩氏（東北ブロック身障協協議員）

7. 人材確保に向けた東北ブロック身体障害者施設協議会の取り組みについて

◎東北ブロック身障協ホームページを開設し、障害者支援施設の活動・魅力についてのPRを進めていく。各施設紹介等の加盟施設の活動を理解してもらう方策も定期的に更新していく。

☆ホームページは平成29、30年度は青森県が事務局を担当し、その後は持ち回り

平成30年度事業計画

5. 第42回全国研究大会での東北ブロックからの発表

- ◎各ブロックからの研究発表を、今年度はブロックとして栄養士による研究発表を行う
- ◎そのための事前検討会、調査、発表を栄養士により実施（第1回ミーティング 平成30年3月1日（木）実施）
- ◎参加可能な施設から幹事・準備担当者を派遣頂き、準備・調査等・発表を行う

6. 第2回職種別研修会（研修委員会及び協議員共同開催）

- ◎普段、研修の機会や他施設の同職種の職員との交流の機会が少ない職種の研鑽と交流の場（ネットワークの構築へ）とする
- ◎昨年度実施の4職種（事務職・看護師・栄養士・サービス管理責任者）に加え、リハビリ職（セラピスト）も今回は実施する。
- ◎昨年度と同様に仙台市において、10月中旬をめぐりに開催する
- ◎昨年度参加者アンケートを参考にテーマを決め、講義とグループディスカッションを中心にプログラムを策定予定

7. 人材確保に向けた東北ブロック協議会の取り組みについて

- ◎ホームページによる広報周知を継続し、イメージアップを諮る

平成29年度事業報告

【平成30年度4月～の紹介施設】

平成30年4月只越荘、5月一関リハビリセンター、6月すげさわの丘、7月ひばり療護園、8月、9月、10月、11月、12月1月、2月、3月

8. 東北ブロック身障協・シンボルマークの制定について

東北ブロック身障協ホームページ開設を期に、シンボルマークを制定する。シンボルマークの公募を行い、すげさわの丘（山形県）ふぼう（宮城県）の2案を合せたものを承認頂く。

平成30年度事業計画

8. 東北ブロック身障協・シンボルマークの周知活用

【東北ブロック身障協・シンボルマーク】



シンボルマークの意味

- 1 太陽・月・人と人・笑顔・支え合う姿・相互関係・東北6県（6つの太陽フレア）をイメージしている。
- 2 支え合う姿、相互関係は正しく「ケア」の本質で「ケア」に携わる仕事に相応しい。相互関係は常に入れ替わりながら関係作り上げていくもの。一方的な関係ではない。すなわち人と人が手を取り合い、調和し共に生きる社会を示している。
- 3 太陽も月も人々にとって不可欠のもの。太陽は昼、月は夜をひとりですべての人々（障害の有無に関係なく）を平等に照らし、相互補完（それぞれに役割をもって）しあっている。太陽は熱き心、明るさをイメージさせ、生命の根源である。

<p>9. 職員交流会についての検討 ◎親睦を目的にスポーツ・文化等をテーマに交流会を検討する</p> <p>10. その他 ◎その他、施設長会議において必要と認められる事業</p>	<p>月は闇夜で足元を照らす道しるべをイメージさせる。 明るい時（良い時）も暗い時（悪い時）もそれぞれが役割を持ち照らすイメージ。</p> <p>4 明るい笑顔（元気・愉快をイメージ）。全体にポップなイメージを感じさせる。</p> <p>5 遠くから見ると一体的（ひとつ）に見える。</p> <p>6 カラーでも白黒でも使える</p> <p>使い方</p> <p>1 封筒</p> <p>2 ホームページに掲載</p> <p>3 研修会等の看板等</p> <p>4 案内文等</p> <p>9. 職員交流会についての検討 ◎親睦を目的にスポーツ・文化等をテーマに交流会を検討する</p> <p>10. その他 ◎その他、施設長会議において必要と認められる事業</p>
---	---